



シルバー高島

発行(社)高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010



社団法人
高島市シルバー人材センター
安全大会

も地域住民の信用と信頼に繋
細かく実施されている事
のための研修会をさめ

一人お一人が熟練
した技術を身につけ
るための研修会をさめ

業成長を達成され
ていることに敬意
を表します。その

様相互の親睦はもちろ
ん、地域固有のニ
ズをさめ細かく掘り

起こされ堅実な事
業成長を達成され
ていることに敬意

を表します。その
事業成長の蔭でお
一人お一人が熟練

した技術を身につけ
るための研修会をさめ

一人お一人が熟練
した技術を身につけ

るための研修会をさめ
るための研修会をさめ

るための研修会をさめ
るための研修会をさめ



いあつやひ

高島市副市長
山内 敬

併年の四月に発足されて早や四年
目を迎えられ、去る五月には平成二
十年度の総会を無事終えられました
ことに対し、心よりお慶び申し上げ
ます。又、平素より皆様方には高齡
者の方々の就業促進をはじめ、市政
全般にわたり格別のご理解とご協力
を賜っておりますことに衷心よりお
礼申し上げます。

ひとくちに四年目と言いますが、
今の年間の我々を取り巻く環境の変
化とその「速さ」は過去の十年間に
匹敵するといっても過言ではない程
その「速さ」には驚かされま
す。そんな中で着実に会員
様相互の親睦はもちろ
ん、地域固有のニ
ズをさめ細かく掘り
起こされ堅実な事
業成長を達成され
ていることに敬意
を表します。その
事業成長の蔭でお
一人お一人が熟練
した技術を身につけ
るための研修会をさめ

がっているものと思います。
高島市市政要覧「環の郷」の中に
以下のように謳われている。

高島で生まれて高島で暮らす人
のことを「土の人」と言う。土の人
は時のながれの中で「そのとき」に
すべき「そのこと」を知っている。
春が来る前にやっておくこと 雪が
降る前にこしらえるもの。蒔いても
芽の出ない春もある。咲いても実ら
ない秋もある。それでも繰り返す。
土の人は受け入れている。

高島で生まれて育った人ではない
よそから来た人のことを「風の人」
と言う。風の人は風の人の視点でこ
の地の輝きを見つめる。風の人に
よって気づかされることがある。そ
れが土の人の誇りとなる。この地の
豊かさをともにつくり出していく。

この詩は私たちに高齢化率の高い
ことを「負」のイメージで捉えるの
ではなく「ふるさと」のある安心と
やすらぎが私たちの「豊かさ」であ
り「幸せ」であると教えてくれてい
るようです。皆様方が身体に宿して
おられる「知恵」と「心」と「技」
をふるさと高島の大地にのしるして下
さい。

身心ともに健やかであることの幸
せを、周りのすべての子ども達の未
来への幸せに繋がる「善い心」に満
ちたふるさとへと導いて下さること
をお願い申し上げます。

最後になりましたが(社)高島市シル
バー人材センターのますますのご発
展を心よりお祈り致します。

最後になりましたが(社)高島市シル
バー人材センターのますますのご発
展を心よりお祈り致します。

第6回 通常総会開催

〈平成20年5月21日〉



今回の通常総会は定款の変更や、役員の変更がありました。会員五三四名の内四二六名（内委任状一九〇名）の出席の下、慎重審議がなされました。

来賓には、副市長 山内 敬氏、副議長 渡邊近治氏、高島市健康福祉部長 寿介護課 参事 木下豊子氏、大津公共職業安定所 高島出張所長 横田謙一氏のご臨席を頂きました。

当日の議長は、有田邦雄氏にお願いし、議案は原案どおり可決されました。

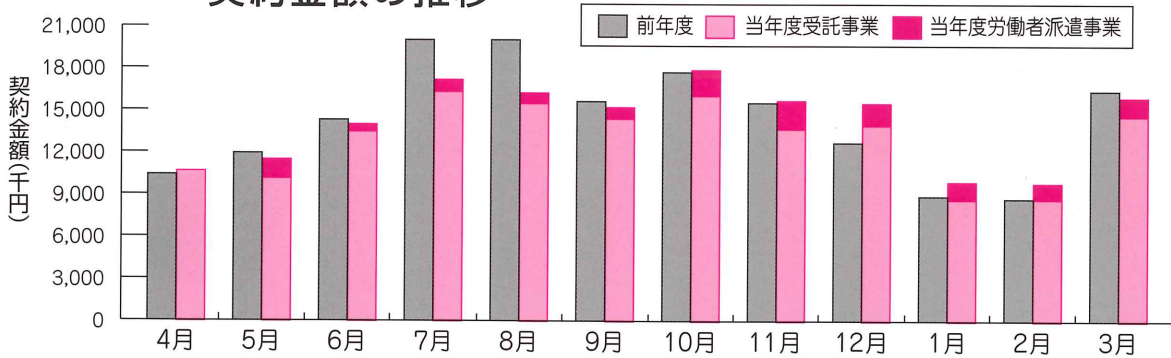
承認頂きました平成二〇・二一年度の理事・幹事は次ページ組織機構図で掲載致しております。



議 事

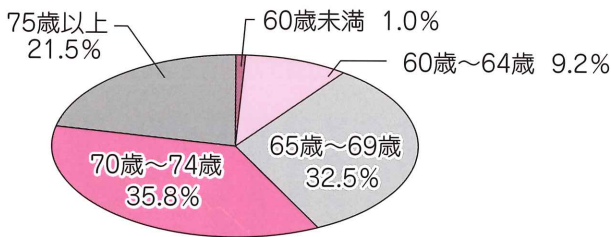
- 議案第1号 (社)高島市シルバー人材センター定款の一部変更について(従たる事務所の抹消について)
- 議案第2号 平成19年度事業報告について
- 議案第3号 平成19年度収支決算について
- 議案第4号 役員改選について

契約金額の推移



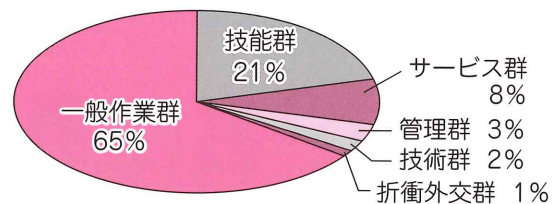
平成十九年度
事業実績

年齢別会員数構成比 520人

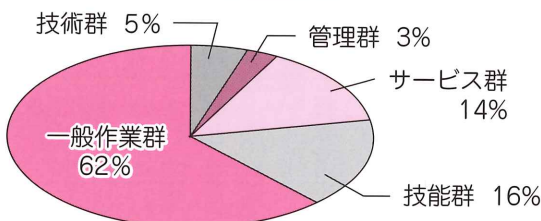


職群別契約金額構成比 157,315,109円

(労働者派遣事業は含まない)



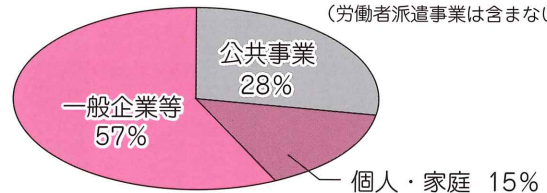
職群別就業延人員構成比 38,943人



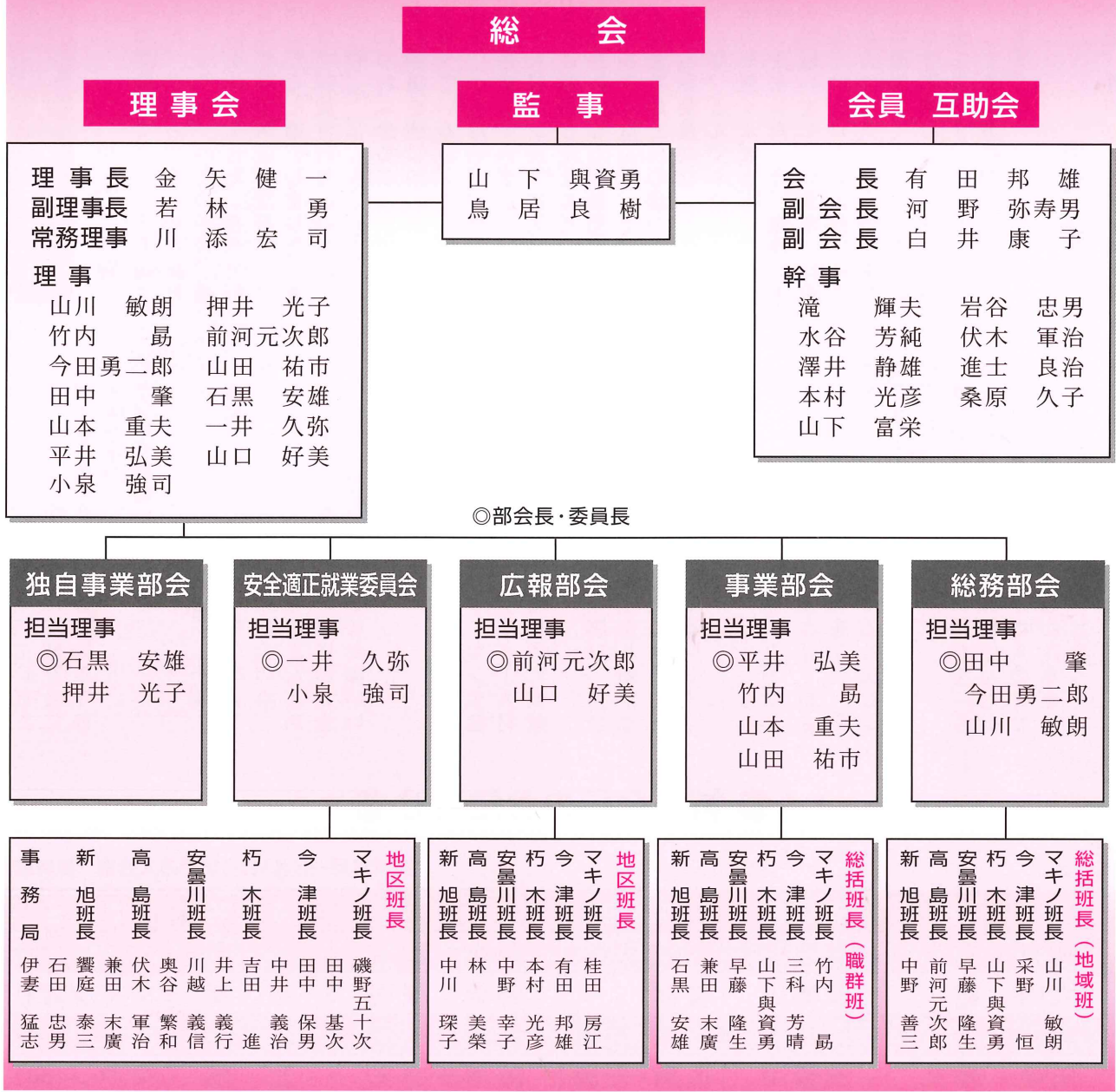
民間・公共別契約金額構成比

157,315,109円

(労働者派遣事業は含まない)



平成20・21年度 (社)高島市シルバー人材センター会員組織構図



会員数

6月18日現在

地区名	男	女	合計
安曇川	69	42	111
北部(マキノ)	61	13	74
北部(今津)	72	27	99
朽木	18	13	31
本部(高島)	54	27	81
新旭	91	49	140
合計	365	171	536

事務所 各種連絡先

マキノと今津が統合し、北部支所となりました

- ◎本 部
所在地 勝野1365番地 (高島老人福祉センター内)
☎0740-36-8191
- ◎北部支所
所在地 今津町弘川1204番地1 (今津老人福祉センター内)
☎0740-22-9055
- ◎新旭支所
所在地 新旭町旭734番地2 (ほおじろ荘内)
☎0740-25-8258
- ◎安曇川支所
所在地 安曇川町田中459番地(社会福祉協議会安曇川支所内)
☎0740-32-2957
- ◎朽木連絡先
所在地 朽木市場676番地 (社会福祉協議会朽木支所内)
☎0740-38-2607

会 員 募 集

年齢シ
者にル
業・公
働いて
に働か
ペリ、
子・キ
す。ふ
す。会
の張、
加入、
をモッ
募集し
してな
まど障

業・公
者にル
に働か
公共団
に働か
に働か
業・公
者にル
に働か
公共団
に働か
業・公
者にル
に働か
公共団
に働か

新風 新入会員より

小川 輝隆

四十三年間働いて来て六十五歳になりました。ここらでそろそろ仕事をやめにするかと、今年の五月、働かない生活を始めました。食べて行くぐらいは年金で何とかなるし、二か月間だらだらと過ごしました。最初は何と楽で解放されたいい生活なんだろうと思っていました。しかし、日が経つにつれ『やる事が無い』と言う事に苦痛を感じ始めました。でも年を取っているし、そう簡単には仕事は見つからない、どうしたらよいものか思索していました。近所にシルバー人材センターに入会されている友人に相談したところ、センターを紹介されました。最初はシルバー人材センターなんて、よぼよぼの老人の集まりだと内心思っていました。ところが会員になって仕事を始めましたが、とんでもない！自分が一番体力も無くよぼよぼしているのに気がつきました。今、塩津の遺跡発掘の手伝いをしています。仕事は決して楽ではありませんが、ここで働く先輩方は元気はつらつ、まじめで一生懸命働いておられます。いろんな仕事や素晴らしい仲間と出会えそう楽しみです。これからも体力アップして先輩方について行きたいと思えます。

白崎 和枝

出会いと、生きがいを求め今年四

月から皆様方の仲間に入れていただきました。健康で元気に地域社会に貢献できる幸せに感謝している今日この頃です。よろしくお願ひします。

廣部 文雄

高齢化社会が進む中、第二の人生を、培った技術を生かし社会の為、人の為手助けできるような皆さんと共に汗を流して頑張りたいと思ひ入会しました。ご指導よろしくお願ひいたします。

松田 敏明

約五十年近くのサラリーマン生活を終え、この五月からシルバー人材センターに入会、余力を社会に貢献したいと思ひます。

会員の皆さんと交流を図り、自分の能力・知識・経験を生かし新たな生き甲斐となるよう頑張ります。皆さんの温かいご指導をお願いいたします。

山下トモ子

先日の安全大会に参加させて頂きました。講演や運動指導を学び、午後からのふれあいのタイムを楽しく過ごさせて頂いた、とてもいい親睦でした。

動物好きな私は、犬の散歩や、互助会のグラウンドゴルフ等皆さんとお会い出来ることを楽しみに入会させて頂いた、良かったです。何もわかりませんがよろしくお願ひいたします。

●●●新入会員のお知らせ●●●

20年4月～6月18日までの入会者 (敬称略)

氏名	支所名	地区名	氏名	支所名	地区名
梅村 福子	安曇川	本庄	野崎 巳吉	北部	マキノ(西)
大内 範之	安曇川	青柳	野崎 孝司	北部	マキノ(西)
熊谷 吉一	安曇川	広瀬・安曇	圓明きく江	北部	マキノ(東)
田中 隆文	安曇川	広瀬・安曇	藤澤チヨモ	北部	マキノ(南)
永杉 政亥	安曇川	広瀬・安曇	小川 輝隆	北部	マキノ(南)
坂田 法義	安曇川	青柳	藤野 政夫	北部	今津(南)
古北きみ子	本部	高島第一班	廣部 文雄	北部	今津(南)
清水三千子	本部	高島第一班	柳森 亥平	北部	今津(南)
白崎 和枝	本部	高島第二班	富田 重昭	北部	今津(南)
福原 良水	本部	高島第二班	佐藤勇太郎	北部	今津(南)
吉村 末藏	本部	高島第二班	松田 敏明	新旭	旭・針江・深溝
伏木とし江	本部	高島第二班	岡田 兵治	新旭	新庄・安北
小谷 正二	本部	高島第一班	石塚 勇	新旭	旭・針江・深溝
中江 寿一	本部	高島第二班	高橋 碩弥	新旭	藁園・太田
福本祐太郎	本部	高島第一班	山下トモ子		朽木
小山 光正	本部	高島第一班			

「互助会」事業計画

新役員会で具体化する

6月4日、新しく選出された互助会役員が年間の事業計画を具体化すべく意見交換をしました。会員の親睦と相互扶助、センターの発展に寄与する事を目的に3つの事業計画の柱を具体化しました。

健康を増進する事業

(スポーツ関係)

親睦研修事業

(旅行・レクリエーションなど)

文化活動事業

(会員の趣味・クラブ活動)

―具体的行事として―

- ・ 7月5日の安全大会の後に互助会員の集いを開催し、レクリエーション・スポーツで交流する。
- ・ 年2回のグラウンドゴルフ大会を開催する。

1回目：7月23日(水)

(安曇川健康の森にて)

2回目：10月未定

(安曇川健康の森にて)

日帰りバス旅行

11月〜12月実施 (場所未定)

文化趣味の活動

今年度は料理教室を実施します。

(安曇川公民館にて)

その他、囲碁・将棋・手芸についても今後検討していきます。

※会員の声をお寄せ下さい。

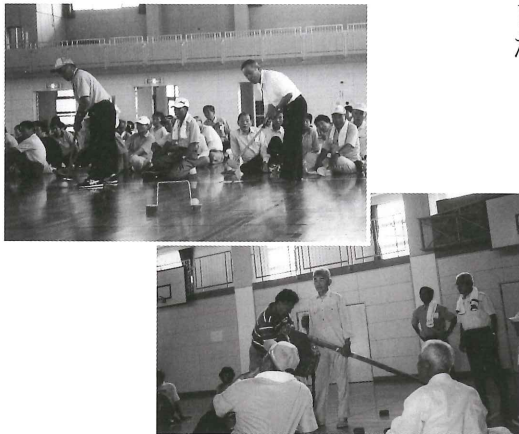
互助会会員のついで

「ゲートゴルフ」

玉入れに熱気

七月五日、安全大会後の午後、安曇川体育館にて会員約百十名が集い「ゲートゴルフ」と「玉入れ」競技を八組に分れて行いました。

ゲートを潜るのに一苦労。硬式テニスのボールが床の上をどこまで転がるのか。ゴールは遠かったようです。玉入れは三十秒間とはいえ、短くも長い時間での競い合いです。三回勝負に負けると「籠が小さい」「棒が高い」と童心に返って文句を言う人も。最後は参加者一同が輪になり、全員で琵琶湖周航の歌を合唱して散会しました。



会員の広場

シリーズ 私の健康法

病に強く 持病と闘うには



安曇川

平井弘美

昭和二十七年五月都会に憧れ、丁稚奉公にでた。その年の秋、京都市内にも馴れ、京極の商店街を物珍しく右に左にと歩いていると路地の片隅から易者に呼び止められ「手を見せなさい」と云われ右手を出す大きな拡大鏡で覗きながら「年は？名前は？」と私に聞き「ウンウン」と頷き「君氣を付けないと短命だよ」と云われた。瞬間私は声を出して笑ったのを覚えている。すると「左手を見せなさい」と言葉強く易者は自分の手で私の手を引っ張り右手と同じく鏡で覗し「二十五歳までの命と出ている」と云われた。「エッ、あと十年の命」と聞き返したら「氣をつけなさい」と一言。当時一ヶ月五〇〇円の報酬、高い一〇〇円の易料を払いそんな馬鹿な…、驚き半分、一〇〇円の諦め半分、半信半疑

の気持ちで親方の元に帰った。あれから四十六年、現在約三倍近く無料の酸素を吸って生き延びている。其の間、神経性潰瘍、扁桃腺肥大、肝臓にポリプの発見、糖尿病と四つの病を経験して来たが、厄介なのが今の持病です。この診断を受けたのが三十七歳で、三十四年間の付き合いです。寿命のある迄「食」は必要、でも糖尿病はカロリー計算の食で生活しなければいけない。この病は痛くも痒くもない、しかも外見には大して表れない。どんな仕事にも従事できるが医師の指示通りのカロリー食では力は保てない。「病は気から」と云います。何事にも「気にしない」事、医者言葉全部鵜呑みしない、ある程度「逆療法」も肝心であくまでも自分のペースを崩さない。食べたい物は食し、呑める物は呑んで適度の運動を忘れず、体を休める時には十二分の余暇を作る。これが私の持病と闘っている毎日です。余命長いから短いか定かではないが今迄同様私のペースで、糖尿病と手を繋いで元気に又明日を迎えます。



平成二十年度

安全大会開催

安全適正就業委員長



一井久弥

が安曇川町体育館で去る七月五日開催されました。市内各地より大勢の会員が集い盛大に行う事が出来ました。

日本人の平均寿命が伸び、第一線から退いた高齢者に残された約十三万時間をどの様に過ごすかで私共の人生は大きく変わってくると思います。生き甲斐をもって元気に暮らしたいと思うのは誰しも同じでございます。

余暇を趣味・ボランティア等社会活動に当って充実した日々を過ごされており、シルバー会員の仲間はまだまだ元気だなぁと実感致しました。

共働・共助・自主・自立を基本理念としています。そのためにも安全就業の確保と言うことはシルバー事業活動の根幹としている所でございます。

滋賀県連合会の課長の講演の中でもシルバーの重篤事故が発生した業務は、申し合わせ事項としてそのような作業は禁止をしています。今後このようなことが更に発生すると仕事の範囲ももっと狭まるだろうとのことでした。昨年度滋賀県全体としても又当シルバーとしても剪定作業中の事故が多発しました。原因としては安全ベルトやヘルメットの不着用等がありました。作業前のミーティングで安全性を確認してお互いの行動を把握しながらの作業といった基本的な事を忘れないように努めて頂きたいと思えます。

傷害事故や賠償責任の事故防止については安全作業の意識を高揚するため、徹底的な安全対策をすべての会員が知って頂くよう重点

シルバー人材センター安全スローガン

- ◆気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと (全国)
- ◆わざを手に 初心を添えて 事故はゼロ (滋賀県)
- ◆経験を 活かして取り組み 安全就業 (高島市)

事項としての実施計画をしておりません。よろしくご理解をお願い致します。

会員の作業状況



冠句

・羞なく天寿の小路照らす趣味
・慎ましく年金弧舟の夫婦權
齊藤 春生

川柳

・えんど豆袖を濡らして挽ぎにけり
川面より浮かび上りし堂かな
饗庭 一功

・水音の聞へくゝと螢とぶ
夢になほわだかまりるて明易し
栗原 久子

・好天に恵まれ真直ぐ麦熟す
幼子が来て吾が畑の母狩り
上原たづ子

・シルバー人どんな仕事も不平等なく
腰まがり低い背丈がなお低く
平井 弘美

原稿募集!

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なんでも結構です。「広報役員・支所・本部へお届け下さい。」お待ちしております。

又、シリーズ的に会員皆さんの「私の健康法」と題して掲載させていただきます。皆さんのいろいろな健康法を教えてください。今回作品をお寄せ頂きました皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。今年も酷暑の季節がやってきました。会員の皆さん、お互いに体調には充分気をつけ、暑い夏を乗り越えましょう。多くの新会員を迎えました。心強く思えます。新風を吹き込んで下さい。

広報部会も新旧メンバーが揃い、当シルバー人材センターの「今」をやさしく、読みやすい紙面をモットーに年四回程度発行いたします。ご期待下さい。

先日書店で「びわ湖検定」公式問題解説集なるものを見つけました。来る十一月末に検定試験があるとのこと。会員の皆さん、シルバー力を発揮して試してみませんか? 私も錆びついた脳細胞に活力を注ぐために挑戦しようかなと思っております。心身ともに健康な毎日のために。

広報部会